

# 福祉のまちづくり懇談会(H27.7.23 旭が丘・下宿)ニュース

## ◆当日の振り返り

懇談会には17名が参加をしていただき「旭が丘・下宿の困りごと・気になること」をグループごとに話し合いました。地域住民の方、福祉関係者の方など、様々な視点から意見の交換・発表をできたのではないのでしょうか。

## ◆地域の困りごと・気になること

各グループからより多くでた意見です。

・【**高齢者の増加**】…高齢化率の高い清瀬市の中で、高齢化に伴い「高齢者のひとり暮らしが増えていて気になる」、「老人だけの街になった」との意見が多くあがりました。また何かあったときに気が付けない、助けられないことへの不安の声もありました。

・【**世代間の交流**】…「近隣との交流がない」、新しい住宅街が多くなり「若い子育て世代と年配世代の交流が少ない」との意見がでました。「子どもと大人に距離感があり、挨拶すらできていない」など、年代間に大きなギャップを感じている方もいるようです。

・【**外出の不便**】…近くにスーパーがない、坂が多く歩くことが大変、バスの運行経路がないなど不便を感じている方からは、「皆さんは買い物をどうしていますか？」という話がありました。また団地にはエレベーターがないため、「買い物をしたら階段で上がれない」という方もいらっしゃいました。



## ◆地域にほしい取り組み

これらの問題を踏まえて、あったらいいと思う取り組みを話し合い、「一人でもできそうなこと」、「何人かいればできそうなこと」、「地域全体で頑張ればできそうなこと」の3つに分類しました。

・【**ひとり暮らしの高齢者**】には、孤立防止のため気軽に行ける体操教室、自宅を定期的に見回りに来てくれるボランティアが欲しい。

・【**世代間の交流**】には、子どもと年配者が交流を図れる共有場所があるとよい、そして子育てサロンを増やすなど若い世代の支援を求める声。

・【**外出の不便**】への対策には、移動販売車の要望、団地の階段で荷物を持って上がる助け合いの必要性。

## ◆次回の懇談会にむけて

参加者の方から「もっと多くの方が参加してほしい」と意見がありました。また「地域全体で頑張ればできそうなこと」の意見が一番多くでたとおり、課題に対して地域全体で意識を向けることが大切であると考えられます。今後もより多くの方に参加をしていただき、地域の方とともに住みやすい福祉のまちづくりを目指していきたいと思います。